



なるほどアイヌ文化トーク
ソノコ de ソノコ

アイヌ文化にどっぷり浸って生きてきた
本田優子(札幌大学教授)と
村木美幸(アイヌ民族博物館専務理事)が、
その魅力をソノコ(=お便り)形式で語り合います。



今月のテーマ エムシ(刀剣)



イラスト/安田千夏

アイヌの刀剣として知られるもの
ひとつにエムシがあるよね。自製する木
製の刀の鞘と柄に、本州などからもたら
された刀身と鏢からなり、その形態は日本刀に
よく似ているの。時代劇などで目にする日本刀
は刃を上向きにして帯に差しますが、アイヌのエ
ムシは刃が下向きになるようにエムシアツと呼ば
れる刀を掛ける帯が使われるの。エムシは利き腕
とは関係なく左腰に下げるといふルールがある
ので、刀の表側となる偏表の面にだけ文様が彫
られ、飾り金具などで素敵に装飾されます。

エムシは宝物であり、アイヌ男性が正装する際
に身につけるアイテムのひとつでもあるの。強い
力を持つと考えられていて、儀式などで特に重
要な役割を担う男性はカムイノミ(神への祈り)
中もエムシを下げ、その祈りに力を添えてもらう
とのこと。エムシの力は男性の舞踊、エムシリムセ
(剣舞)でも表現されるの。刀を打ち合わせ、足を
強く踏み鳴らすことでその場を清め、悪いもの
を追いつく魔払いの踊り、エムシリムセは躍動感
にあふれていて迫力満点。カッコいいですよね。

「アイヌの刀つて錆びていて手入れされていな
いよね。」って、よく言われることがあるけど、エ
ムシは錆びついているのが当たり前なんだって。
錆びたエムシで切られた魔物はこの世に二度と
再生できないと信じられているからなんだよね。



エムシリムセに代表されるように、エムシはもっ
ぱら魔払いのために使われていたイメージが強
いよね。でも、ユカラ(英雄叙事詩)には、武器と
しての刀がたくさん登場し、その戦闘シーンは
迫力満点。しかも、男性に限らず女性たち(これ
がまた強い霊力を有する美少女たち)も空を
飛びながら刀での戦いを繰り広げるの。エムシリ
ムセは男性の踊りとされるのに、物語世界の刀は
女性にも開放されてるんですね。

素晴らしい刀のことを「カムイランケタム」、神
授の宝刀と表現するけど、なんとって一番有名な
のは「クトゥネシリカ」という名前の刀。これに
「虎杖丸」という日本語訳をつけ、物語自体のタ
イトルとして紹介したのは金田二京助先生でし
た。主人公が持っているこの刀に施された彫刻
がすごい。鏢に描かれているのは角を高くとおこし立
てた雄の雷神(ちなみに、雷神と龍神はイコール
なので龍の形をします)。鞘いっぱいに絡みつ
いているのは鱗と尻尾を振り立てた雌の雷神。
刀の柄がしらには牙をむきだした狼神。鞘の口
元には恐ろしい夏狐の化け物。戦いの場面では、
それらが生ける神々となつてうなり出し、敵を
刺し貫くんですって。

いま世の中は刀剣ブームとやら。もし
虎杖丸が展示されたりなんかしたら、
まちがいなく刀剣女子が殺到だね。

